

3日目
いわき市

被災地の現状と復興への取組みを学ぶ



3日目はいわき市で震災学習が行われました。未だに震災の爪跡が残る被災地を訪れ、困難から立ち上がり、復興へ向け前進する人々の姿を目の前にした生徒たちは、報道だけでは知ることのできない「ふくしまの今」を学びました。

●スパリゾートハワイアンズでの復興学習

統括支配人である下山敏博さんを講師に、震災当時の被害の様子などについて講演が行われました。震災の影響により一時休業状態となったハワイアンズに対し、長崎県佐世保市にある観光施設「ハウステンボス」から支援の手が差し伸べられたという話に対し、生徒たちは震災から生まれた福島県と長崎県の絆に感銘を受けていました。



●被災地視察

震災時に起きた津波により、いわき市最大の浸水エリアとなった薄磯地区、豊間地区を視察しました。語り部から当時の状況や津波が残した数々の教訓を聞いたあと、犠牲者を偲んで黙祷を行いました。その後実際に津波被害のあった海岸沿いを生徒たち自らの足で踏みしめ、被災地の現実を肌で感じていました。



●アクアマリンふくしま見学

震災と津波によって大きな被害を受けた水族館「アクアマリンふくしま」の特色や、震災当時の状況から営業再開までの歩みについての講話を聞き、館内を見学。スタッフとともに、震災後のさまざまな苦難を乗り越えてきた生き物たちに応援の声を掛ける生徒の姿もありました。



●学校交流会

代表生徒23名が、福島県立いわき総合高等学校の生徒たちと交流会を行いました。震災当時の状況や心境、復興への取組みについて活発な意見交換が行われ、高校生同士、被災地復興への思いを新たにしていました。その後も将来の夢や進路について語り合うなど、充実した交流会となりました。



生徒の感想

- 地震で大きな被害を受けたというイメージがありましたが、長崎県と変わらない普通の生活を送る人々の姿がありました。歴史など、学べることがたくさんあり、イメージが変わりました。また福島県に来てみたいです。
- 震災学習を通じて、震災当時の地震がどれほどの威力だったのかということを知ることができました。長崎県と福島県は遠く離れていますが、いつまでも福島県のことを応援したいです。

3日目 平成25年12月15日(日)

猪苗代町

・磐越自動車道 バス:約80分

いわき市

復興学習

●スパリゾートハワイアンズ
日本にいながらハワイの南国気分を味わえる温泉レジャー施設です。人々に笑顔を届けるフラガールは、いわき市の復興のシンボルとなっています。



バス:約35分

被災地視察

●薄磯、豊間地区
震災による津波で甚大な被害を受けたが、現在は復興へ向け整備が進められている地域です。近隣には日本の灯台50選に選ばれた「塩屋崎灯台」があり、福島再生への希望を照らす姿を見ることができます。



バス:約25分

アクアマリンふくしま見学

●アクアマリンふくしま
福島の海の大きな特徴である太平洋の「潮目」をテーマとした水族館です。魚を釣ってその命をいただく体験や、生き物の一生を知るなど、命の教育学習ができます。



バス:約30分

学校交流会(福島県立いわき総合高等学校)

・常磐自動車道 バス:約160分

千葉県浦安市

4日目 平成25年12月16日(日)

千葉県浦安市

東京ディズニーランド

・首都高速湾岸線 バス:約25分

羽田空港

飛行機:約90分

長崎空港

PICK UP

福島 長崎 絆物語

長崎県佐世保市の観光施設「ハウステンボス」は、被災地支援の一環として、東日本大震災の影響で一時休業となったハワイアンズの従業員を、スタッフとして一時的に受け入れました。ハウステンボスでの業務を通じて、営業再開に向けた接客マナーの技術に磨きかけたハワイアンズの従業員たちは、福島から全国へ笑顔を発信する気持ちをひとつにすることができました。

学校紹介

長崎県立佐世保南高等学校 (長崎県佐世保市)

「じまうじりつ自強自律(自分に厳しく)」と「わけいせい和敬礼節(礼儀正しく)」を校訓とし、創造性豊かな知性と情操を養い人間としての成長と発達を自律的に続けていく基盤を培うことを目指しています。さらには社会的使命に基づき、個性に応じた進路を決定し、日本はもちろん世界の平和と発展に貢献できる「調和のとれた健全な人間」の育成に努めています。



VOICE

ふくしまへメッセージ



長崎県立佐世保南高等学校 教頭 **小野下 和宏** 先生

今回の修学旅行では、各訪問先で、本校生が「福島のみなさまへの思い」をしたためた寄せ書きの旗をお渡ししました。その時、福島のみなさまからは、とびきりの笑顔と感謝の言葉をいただきました。生徒たちは、みなさまの広く深く、そして強い心持ちを感じることができたと思います。



長崎県立佐世保南高等学校 2学年主任 **山西 善雄** 先生

いつまでも心に残る修学旅行となりました。「福島
島の記憶」を長崎で発信し続けます。ありがとうございました。

